

2022年11月14日  
SCSK株式会社

## 国内初の I-REC プラットフォームオペレーターとして、事業開発着手 ～脱炭素社会の実現を目指して～

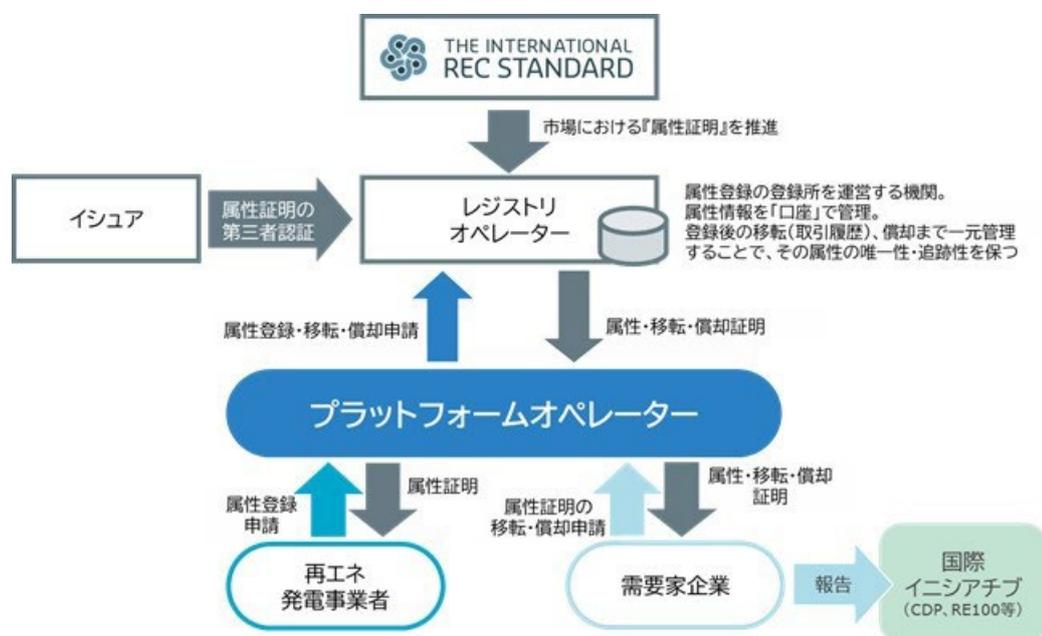
SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、THE INTERNATIONAL REC STANDARD FOUNDATION(本社:オランダ、以下 I-REC 規格財団)及び Evident Ev Limited(本社:英国)と三社間契約「Evident I-REC(E)レジストリに関するプラットフォームオペレーターのサービス」を締結し、国内初の I-REC プラットフォームオペレーターとして、2022年度中の事業開始を目指します。

今後は、日本における I-REC 発行主体(イシュー)である一般社団法人ローカルグッド創成支援機構<sup>※1</sup>(以下ローカルグッド)及び、国際的な環境非営利団体である CDP Worldwide<sup>※2</sup>と連動し、再生可能エネルギー(以下 再エネ)の活用を推進してまいります。

※1:I-REC規格財団より指定された日本におけるI-REC発行主体。I-REC規格で登録された属性情報の証明を担う機構

※2:英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営

### <I-REC規格財団が定める「I-REC属性証明体系」>



本図は I-REC 規格財団が定める「Governance Structure」(<https://www.irecstandard.org/governance-structure/>)を基に作成

### 1. 世界における再エネ属性証明の状況

グローバルでの代表的な再エネ属性証明として、欧州では GO(Guarantee of Origin)、北米では REC(Renewable Energy Certificate)があり、I-REC は GO と REC の対象国以外を対象としています。

I-REC 規格財団が定める属性証明の体系は、トラッキング技術を用い、再エネの発電方式や場所、発電量など詳細な属性情報を認証し、属性証書(I-REC)を『発行』します。また、取引に伴う I-REC の『移転』、国際イニシアチブへの報告時の重複利用防止を目的とした I-REC の『償却』まで一元管理することから、再エネの「唯一性」及び「追跡性」が確保されます。

## 2. サービス概要

イシューア(ローカルグッド)は、登録された「属性」を第三者的に認証する機関で、I-REC 規格財団が指定します。レジストリオペレーター(Evident Ev Limited)は登録された属性を「口座」で管理する機関です。

SCSKはプラットフォームオペレーターとして、上記 2 社で規定管理された属性に関して、再エネ発電事業者の属性証明に伴う登録申請受付や、再エネ属性証書の取引、国際イニシアチブへの報告時に必要な属性証書の償却を Web システムでサービス提供してまいります。<sup>※3、※4</sup>

※3:本件は、再エネ電力の属性証明に必要なトラッキング技術を提供するものです。

※4:温対法に基づく報告など日本の制度においてI-RECによるオフセットはできません。環境価値の訴求には別途、非化石証書を取得する必要があります。

●I-REC プラットフォームオペレーター事業(仮称):

<https://www.scsk.jp/sp/enetrack/>

## 3. 将来の展望

プラットフォームオペレーター事業は、I-REC を導入している国単位で実施するため、今回構築する Web システムを活用して、海外の I-REC 導入国への展開も視野に入れていきます。

さらに、トラッキング技術の応用領域として、再エネ電力以外のエネルギー、資源分野での活用についても検討してまいります。

## SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。本取り組みは、「地球環境への貢献」に資するものです。

－再生可能エネルギーの活用を推進し、社会の脱炭素化に貢献

・SCSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

[https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428\\_2.html](https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428_2.html)

## 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ビジネスデザイングループ

ビジネスデザイングループ統括本部 事業企画推進部

EVER プログラムチーム

E-mail: [EVER-info@scsk.jp](mailto:EVER-info@scsk.jp)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 土岐

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。